



注目作家紹介プログラム チャンネル5
Spotlight Artist Showcase CHANNEL vol. 5

木藤純子 Winter Bloom

KIDO Junko Winter Bloom

2014年12月6日(土)～12月21日(日)

※12月22日(月)には屋外から見える特別展示を行います

注目作家紹介プログラム チャンネル5

木藤純子 Winter Bloom

Spotlight Artist Showcase CHANNEL vol. 5

KIDO Junko Winter Bloom

会期等

2014年12月6日(土)～12月21日(日)

休館日：月曜日

※12月22日(月/休館日)には屋外から見える特別展示を行います

開館時間：午前10時～午後6時

金・土曜日は夜間開館(午後8時まで)

※入場は閉館の30分前まで

観覧料：無料

会場：ギャラリー棟1階アトリエ1、展示棟エントランス、
大ひさし下ほか

主催：兵庫県立美術館

後援：公益財団法人伊藤文化財団、

公益財団法人中内力コンベンション振興財団

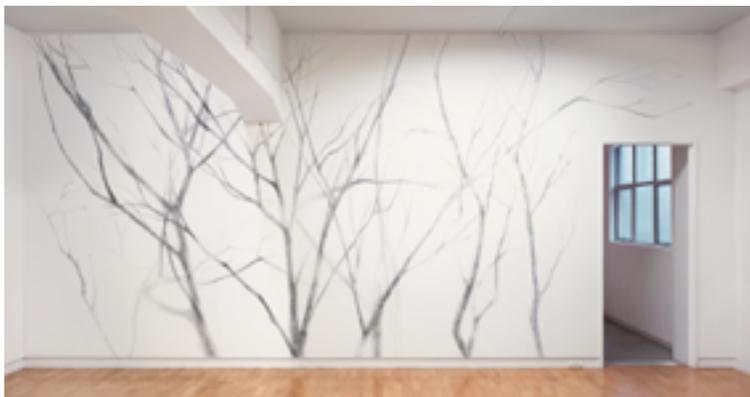
協賛：兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

作家略歴

木藤純子 KIDO Junko

1976年 富山県生まれ 京都府在住

1999年 成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラス卒業
現在京都府在住



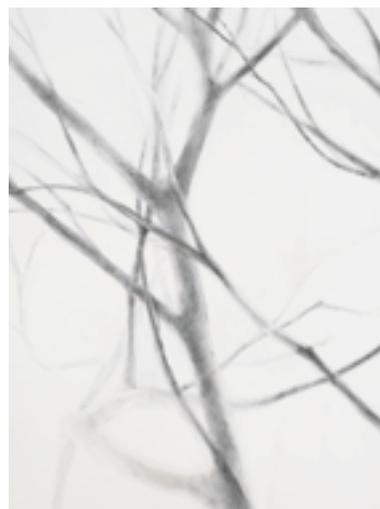
2.木藤純子《Vostok, 2013》2013年 撮影：市川靖史 (参考図版)

主な個展

- 2014年 木藤純子展—ひるとよる
(GALLERY CAPTION / 岐阜)
- 2009年 Calling
(みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム / 岐阜)
- 2008年 Vostok
(GALLERY CAPTION / 岐阜)
- 2004年 ライト light/right
(muzz program space / 京都)

主なグループ展

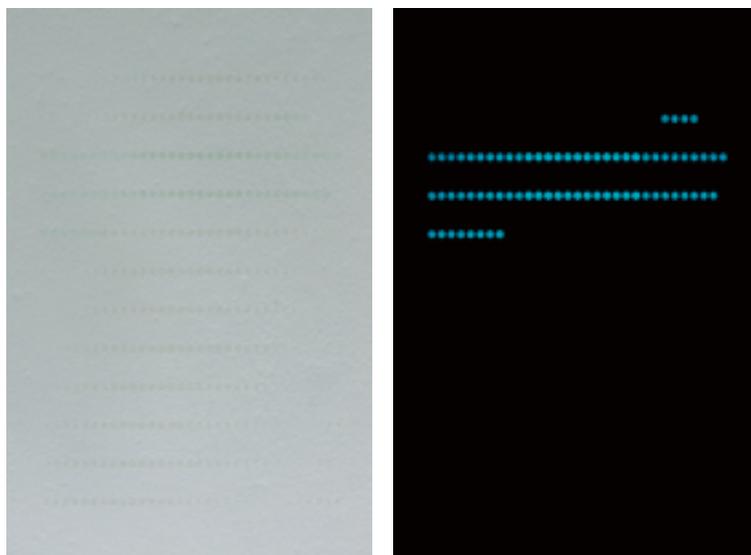
- 2013年 NOW●JAPAN
(K A d E / オランダ)
- 2012年 岡崎アート&ジャズ2012
(岡崎市内各所 [木藤氏の会場は日本多忠次邸])
- 2011年 世界制作の方法
(国立国際美術館 / 大阪)
MOTアニュアル2011 Nearest Faraway 世界の深さの
はかり方 (東京都現代美術館)
- 2010年 panorama—すべてを見ながら、見えていない私たちへ
(京都芸術センター)
とやま現代作家シリーズ メッセージアート新時代から
(富山県立近代美術館)
- 2009年 After School・放課後の展覧会
(元・立誠小学校 / 京都)
- 2008年 Exhibition as media 2008 "LOCUS"
(神戸アートビレッジセンター)
- 2002年 変身願望。—いま、表現とは?
(福井市美術館)



3.木藤純子《Vostok, 2013》(部分) 2013年 撮影：市川靖史 (参考図版)

開催趣旨

兵庫県立美術館では、2010年より毎年「注目作家紹介プログラムチャンネル」(注1)を開催し、学芸員が注目の作家を紹介しています。将来をになう注目すべき作家の展覧会を美術館で開催することで、新たな表現と出会う機会を広く社会に提供することを目的としています。5回目となる今年度の「チャンネル」展は、木藤純子(きどうじゅんこ / 1976年 -)の個展を開催します。関西を拠点に制作を続ける木藤は、主にインスタレーション(注2)を表現手段とする作家です。彼女はこれまで、光や風といった自然の要素、会場となる空間のつくりなど、あらかじめ存在するものに極めて抑制された表現を加えることで、特別な場を創りだしてきました。そのささやかな表現は我々の感覚を研ぎ澄まし、流れゆく時のうつろいに寄り添うことを促します。今回の展覧会は、満月に初日を迎え、新月の夜にその会期を終えます。人が区切った時間を超えて、太古の昔より静かに刻まれてきた時を想う。そのような仕掛けもまた、木藤の作品の一部と考えてよいでしょう。会期中はメイン会場のアトリエ1の他、館内の各所に作品を展開します。また、12月22日(休館日)の新月の日には、屋外から見える1日限りの特別な作品を展示します。



4.木藤純子《Sound of Silence》(部分) 2011年 撮影：新良太 (参考図版)

展覧会のみどころ

- ・ 同時代に生み出される新たな表現
- ・ 建築の特性を生かしたインスタレーション
- ・ 感覚を研ぎ澄ます静かな仕掛け
- ・ 最終日(12月22日)の一日限りのスペシャルな展示

注1 注目作家紹介プログラム チャンネル

チャンネル(channel)という単語には「海峡」や「水路」、美術館の前にもある「運河」、テレビやラジオの「チャンネル(局)」、「思考・行動の方向」、さらには何ものかとの「交信」など、様々な意味があります。そこに共通するのは「何かと何かをつなぐこと」。美術館を訪れる人と、同じ時代を生きるアーティストとがつながっていくことを願って、タイトルを「チャンネル」としました。

注2 インスタレーション

空間全体を作品として提示する手法



5.木藤純子《Skypot》2008年 撮影：福永一夫 (参考図版)

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

代表 TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

企画内容に関すること

担当学芸員：河田亜也子

TEL: 078-262-0909 FAX: 078-262-0913

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 FAX: 078-262-0903

同時開催の展覧会

阪神・淡路大震災20年展

だまし絵Ⅱ

10月15日(水)～12月28日(日)

県美プレミアム

阪神・淡路大震災20年展

阪神・淡路大震災から20年

11月22日(土)～2015年3月8日(日)

会場：兵庫県立美術館 常設展示室

横尾忠則現代美術館での同時開催 ※

阪神・淡路大震災20年展

記憶の遠近術～篠山紀信、横尾忠則を撮る

10月11日(土)～1月4日(日)

※特別展又は、県美プレミアムのチケット半券のご提示で、団体割引料金でご覧いただけます。(詳細はHPなどでご確認ください)

交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅南口から南に徒歩約10分

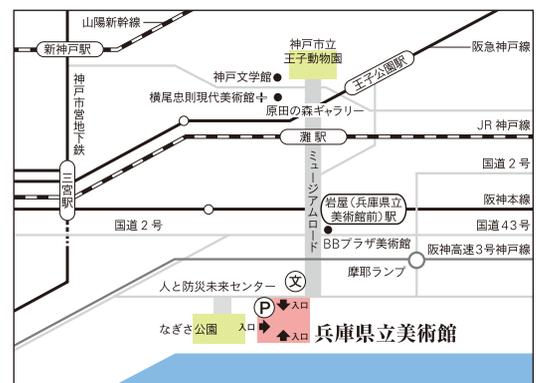
阪急神戸線王子公園駅西口から南西に徒歩約20分

J R三ノ宮駅南から神戸市バス(29・101系統)・阪神バスにて約15分 HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場：乗用車80台収容・有料

※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

※団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



木藤純子 Winter Bloom

2014年12月6日(土)～12月21日(日)

※12月22日(月)には屋外から見える特別展示を行います

広報画像申込書

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 電話 (078) 262-0905 (直通)

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年など
1	木藤純子《Vostok, 2013》(部分) 2013年 撮影:市川靖史 (参考図版)
2	木藤純子《Vostok, 2013》 2013年 撮影:市川靖史 (参考図版)
3	木藤純子《Vostok, 2013》(部分) 2013年 撮影:市川靖史 (参考図版)
4	木藤純子《Sound of Silence》(部分) 2011年 撮影:新良太 (参考図版)
5	木藤純子《Skypot》2008年 撮影:福永一夫 (参考図版)

※上記画像を媒体掲載される際には、記載の作家名・作品名・制作年などを必ず入れてください。

※画像データ使用は、本展示会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。ご了承ください。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ 『 』 TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日		画像到着希望日	

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URLなどを、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※展示会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。